(トップページ：http://mylibrary.maeda1.jp/)
（MENAランキングシリーズ：http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html ）
マイライブラリー：0455

(注)本稿は 2018 年 11 月 5 日から 20 日まで 7 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2018.11.22
前田　高行

日本が 5 位に躍進：世界競争力ランキング(2018年版)

（MENA なんでもランキング・シリーズ　その15）

目次　　頁

1．「世界競争力レポート」について　2
2．MENA16カ国の世界競争力ランキング　2
3．過去5回の順位の推移
3－1　MENA 各国の順位の変遷(第14回～第18回)　3
3－2　MENA 主要3カ国と米国・日本・中国の比較（2014年～2018年の推移）　4
4．MENAの分野別競争力　4
5．主要国の分野別競争力（レーダーチャート）　7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の19の国と1機関（パレスチナ）を取り扱います。（アルファベット順）

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、 トルコ、UAE（アラブ首長国連邦）、イエメン、

これら19カ国・1機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル（ユダヤ教）を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC（イスラム協力機構）加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル（ユダヤ人）、イラン（ペルシャ人）、トルコ（トルコ人）以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第15回のランキングは、「世界経済フォーラム」(World Economic Forum, 略称 WEF)が発表した「Global Competitiveness Report 2018」(世界競争力レポート)について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

＊ WEF ホームページ:
＊ https://www.weforum.org/reports/the-global-competitiveness-report-2017-2018

1.「世界競争力レポート」について

「世界競争力レポート(Global Competitiveness Report)」は、毎冬スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム」が2001年から毎年発表しているレポートであり今回で第18回目となる。第1回レポートの対象国は75カ国であったが、その後対象国は増え今回は140カ国となっている。MENA の対象国は16カ国であり、評価対象外となっている国はリビア、シリア、イラク及びパレスチナ自治政府である。

「世界競争力レポート」の総合的な競争力ランキングはコロンビア大学のザビエル・サラ＝イ＝マーティン教授が開発し2004年に導入された世界競争力指数(Global Competitiveness Index, GCI)が用いられている。GCIは競争力に関する12の分野をもとに設計されており、世界の国々のすべての発展段階における競争力の全体像を示している。

12分野とは、①制度機構(Institutions)、②インフラ(Infrastructure)、③情報通信技術(ICT adoption)、④マクロ経済安定性(Macroeconomic stability)、⑤健康(Health)、⑥技能(skills)、⑦製品市場(Product market)、⑧労働市場(Labour market)、⑨金融システム(Financial system)、⑩市場規模(Market size)、⑪ビジネス・ダイナミズム(Business dynamism)及び⑫イノベーション力(Innovation capability)である。なお今年は評価方法をこれまでと大きく変更しており、その結果、MENA は殆どの国が昨年より世界順位を下げている一方、米国、日本などは順位がアップしている。

(MENA トップはイスラエル！)

2. MENA16カ国の世界競争力ランキング(末尾表 15-T01 参照)

2018年競争力ランキングではMENA19か国のうち16カ国がランク付けされている。MENA トップはイスラエルで同国の世界順位は20位である。同国は昨年に引き続き MENA トップであるが、世界順位は昨年の16位から4ランク下がっている。

イスラエルに続く MENA2位は UAE であるが、世界ランクは27位であり昨年の17位から10ランク落ちている。MENA3位から7位まではカタール(世界ランク30位)、サウジアラビア(同39位)、オマーン(同47位)、バハレーン(同50位)、クウェイト(同54位)と続いており、2位から7位までは GCC 諸国が占めている。昨年の世界ランクと比較するとオマーン以外は全て順位が低下している。このように MENA 各国の多くで世界ランクが下がったのは、今年から競争力の評価方法が大きく変わり、「アイデア創造」、「起業文化」などの項目が取り入れられたことが、MENA 各国に不利に働いたためと考えられる。

MENA8位以下の国々とその世界ランクはトルコ（世界61位）、ヨルダン(同73位)、モロッコ(同75位)と続きレバノン、チュニジア、イランが世界80位台、アルジェリア及びエジプトが世界90位台に入っている。世界89位のイランは昨年の69位から大幅にランクが落ちている。イエメンは世界140か国中の139位と最低のランクである。

因みに世界ランク1位は米国であり昨年の2位からトップに躍り出ている。昨年1位のスイスは今年4位である。日本はスイスに次ぐ世界5位であり昨年の世界9位から4ランクアップしている。中国は世界28位であり、前年の27位とほぼ同じである。米国、日本のランクアップは競争力評価方法の変更が影響したものと見られる。

3. 過去5回の順位の推移

3－1 MENA 各国の順位の変遷(第14回～第18回)（末尾表 15-T02 参照）

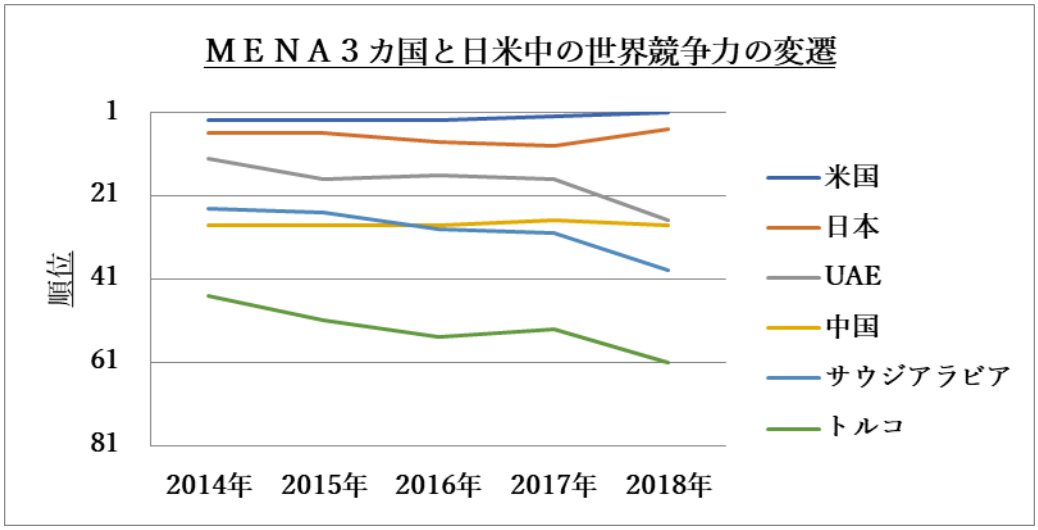
第14回(2014年)から第18回(2018年)までの競争力ランクの推移を見ると、第14回から第16回まではUAEとカタールが連続して世界20位以内に入り、両国で毎年MENAのトップを競っていた。昨年の第17回ではUAEは引き続き20位以内にとどまったが、カタールは25位に落ち、替わってイスラエルがUAEを抜いて16位となりMENAトップの座についた。今年の第18回では前項で述べた通り3か国は一斉に順位を下げ、イスラエルはかろうじて20位になったものの、UAE は27位、カタールも30位に転落している。

これら3カ国に続くのがサウジアラビアであるが、同国は第14回の世界24位以降、毎年連続して順位を下げ今回は世界39位にとどまっている。GCC6カ国の中で過去3年間で唯一順位を上げているのがオマーンである。同国の2014年の世界順位は46位であったが、その後2年連続で順位が落ち2016年には66位までさがった。しかし2017年には62位に回復、今回(2018年)は一挙にランクを15位上げ世界47位と5年前の状態に戻している。バハレーンは40位台を維持し続けてきたが今回は50位にランクを下げ、またクウェイトは2015年の世界34位をピークに4年連続で順位を下げ、今回は5年間で最も低い世界54位となっている。このように GCC6カ国はいずれも今年の順位が5年前を下回っているものの MENA の上位を独占している。

GCC とイスラエルに次ぐ競争力を維持しているのはトルコであり、2014年以降今回までの世界順位の推移は、45位→51位→55位→53位→61位である。またヨルダンは64位→64位→63位→65位→73位、モロッコは72位→72位→70位→71位→75位とそれぞれ世界60位～70位台を維持している。

5年間を通じて競争力の調査対象国数は137～144カ国でありイスラエルからトルコまでの8カ国は5年間を通じて世界の上位クラスに入っている。上記以外の主な国の順位の変遷を見ると、イランは83位→74位→76位→69位→89位であり昨年69位まで上げた順位が今年は一挙に89位に下落している。またエジプトは119位→116位→115位→100位→94位と、昨年まで万年100位以下であったが、今回は94位にアップし、5年前に比べるとランクが大幅に上昇している。

3－2 MENA3カ国と米国・日本・中国の比較（2014年～2018年の推移）



MENA のサウジアラビア、トルコ、UAE3カ国と米国、日本、中国の過去5回の競争力順位を比べてみる。

米国の2014年の順位は世界3位であったが、5年間の順位は3位→3位→3位→2位→1位であり、毎回高い競争力を維持するとともに年々その地位がアップ、今回は世界1位に選ばれている。これに対して日本は6位→6位→8位→9位→5位と10位以内を維持しており今回は過去5年間で最高のランクである。

UAE は2014年は世界12位であり、その後の3年間は若干ランクが落ちたものの20位以内をキープしていた。しかし今年はランクが大幅に下落し27位に下がっている。その結果中国との格差がなくなった。因みに中国は5年間を通じて27、28位である。UAE と同じ GCC の産油国であるサウジアラビアは2014年は24位であり、中国を上回っていたが、その後は毎年ランクを下げ、2016年には中国に追い抜かれて29位にとどまり、さらに今回は世界39位に陥落している。

トルコの場合2014年の順位は45位であったが、その後51位→55位→53位と3年連続で50位台にと染まっていた。しかし今回(2018年)は61位に下落している。国内経済は安定しているが、隣国シリアの内戦が影を落としており、また米国による経済制裁など対外的な問題を抱えていることがトルコの競争力低下の要因の一つであると思われる。

4. MENAの分野別競争力（末尾表 15-T03 参照）

冒頭に触れた通り世界競争力指数は「制度機構」から「イノベーション力」まで12の分野について世界140カ国を順位付けている。分野毎の MENA 各国の世界順位は概略以下のとおりである。

(1) 制度機構(Institutions)

MENAトップは UAE で世界順位は19位であり、同国に次ぐのはイスラエル（世界26位）である。MENA3位以下は世界30位台にカタール（同31位）、オマーン(同36位)、サウジアラビア(同39

位)が並んでいる。さらにバハレーンが42位であり、これにヨルダン、モロッコ及びクウェイトを加えた9カ国が世界140カ国の上位グループに入っている。9カ国中の6カ国は GCC 諸国であり、MENA 地域では GCC が高い競争力を有している。MENA3大国のトルコ、エジプト及びイランの世界順位はそれぞれ71位、102位、121位である。
(参考:日本20位、米国13位、中国65位)

(2) インフラ(Infrastructure)
UAE は世界15位であり評価が高い。これに次いで世界20位台にイスラエル(20位)、オマーン(24位)、カタール(26位)の3か国がリストアップされている。さらに MENA5位以下はバハレーン(世界30位)、サウジアラビア(同40位)と続き、50位台にはトルコ、クウェイト、モロッコ、エジプトの各国が続いている。
(参考:日本5位、米国9位、中国29位)

(3) 情報通信技術(ICT adoption)
ICT の分野では UAE(世界6位)及びカタール(同9位)が飛び抜けており、バハレーン(同38位)、イスラエル(同39位)との格差は大きい。他の GCC 諸国はサウジアラビアが54位、オマーン61位、クウェイト62位である。またトルコは71位、イラン80位、エジプトは100位である。 なおこの分野では中国がわずかながら米国を上回っている。
(参考:日本3位、米国27位、中国26位)

(4) マクロ経済の安定性(Macroeconomic stability)
この分野では UAE、サウジアラビアおよびクウェイトが世界1位に並んでいる。世界有数の産油国であるこれら3カ国は堅調な石油価格のおかげで財政が安定していることが高く評価されたものと思われる。同じ GCC の天然ガス生産国カタールは世界40位と前記3か国に後れを取っているが、これは同国が UAE、サウジアラビアなどの経済封鎖を受けていることが影響しているものと見られる。
MENA 諸国の中でも非産油国は世界ランクが非常に低く、トルコは116位、イラン117位であり、エジプトは135位と世界140カ国の最低ランク圏に位置づけられている。また GCC 加盟国ではあるが、非産油国のバハレーンは財務状態が極めて悪くこの分野の世界ランクは119位とされている。
日本、米国、中国はいずれもこの分野では世界ランクが低く、また日本は中国を下回っている。
(参考:日本41位、米国34位、中国39位)

(5) 健康(Health)
健康分野の MENA トップはイスラエル(世界11位)で、これに続くのがレバノン(世界37位)である。この分野では GCC 各国の世界ランクは高くなく、クウェイトの世界38位がトップであり、カタール(同40位)、サウジアラビア(同64位)、オマーン(65位)、バハレーン(74位)である。他の項目で他の GCC 諸国を大きく引き離している UAE のランクは世界79位と、GCC の中では最も低い。
(参考:日本1位、米国47位、中国44位)

(6) 技能(Skill)

この分野ではイスラエルが世界14位と高い評価を受けており、これに続くバハレーン(世界28位)との格差は大きい。MENA3位以下にはサウジアラビア、オマーン、カタールが世界30位台に並び、UAE は世界53位である。地域の大国トルコ、イラン、エジプトの順位はそれぞれ77位、91位、99位である。

(参考:日本26位、米国3位、中国63位)

(7) 製品市場(Product market)

世界11位の UAE が MENA トップである。カタール(世界25位)、バハレーン(同28位)がこれに続いているが、UAE とはかなりの開きがある。MENA4位以下はサウジアラビア(同32位)、オマーン(同33位)、イスラエル(同41位)、クウェイト(同69位)であり、これら以外の国は世界ランクの下位グループとなる。主要な国とその世界順位はトルコ76位、エジプト121位、イラン134位などである。

(参考:米国3位、日本5位、中国55位)

(8)労働市場(Labor market)

この分野の MENA 諸国の世界ランクは概して低く、平均は98位であり、12分野の中では最も低い。イスラエルは世界ランク15位で非常に良いが MENA2位の UAE の世界ランクは42位であり、バハレーン、カタールが50位前後で続いている。そして MENA16か国中10カ国は世界ランクが100位以下である。例を挙げればサウジアラビアが102位、トルコ111位などであり、エジプト、アルジェリア、イランは世界130位台にとどまっており、イエメンは世界最低ランクの140位とされている。

(参考:米国1位、日本18位、中国69位)

(9)金融システム(Financial system)

この分野ではイスラエルが世界ランク22位で MENA のトップである。これに次いで UAE、ヨルダン、バハレーン及びカタールが世界30位台に並んでいる。その他の GCC 各国はサウジアラビアが45位、クウェイト48位、オマーン56位である。また MENA の大国であるトルコは65位であるが、イランは98位、エジプト99位である。

(参考:米国1位、日本10位、中国30位)

(10)市場規模(Market size)

市場規模の競争力ランクは人口と購買力、特に人口の多さがランクに反映する。また産油・ガスの歳入が多い国は購買力も高い。このためこの分野では MENA の一部の国が世界ランクの上位に顔を出している。例えば、トルコは世界13位であり、サウジアラビア17位、イラン19位の3か国が世界20位以内に入っている。また人口は少ないが豊かな産油国である UAE は中継貿易基地として中東・中央アジアおよび東アフリカ地域を市場に取り込んでいることが世界28位の評価につながっている。これに対してクウェイト(54位)、カタール(51位)など人口が少なく、対外貿易規模の小さい産油国は市場規模での競争力は低い。

(参考:米国2位、中国1位、日本4位)

(11)ビジネス・ダイナミズム(Business dynamism)

ビジネス・ダイナミズムはイスラエルが世界5位である。これに続くのはUAEであるが世界ランクは33位であり大きな格差がある。さらに MENA3位以下はカタール(世界40位)、オマーン(同52位)、バハレーン(同54位)の GCC 各国が続くが、同じ GCC でもクウェイトとサウジアラビアはそれぞれ世界96位、同114位でありビジネスのダイナミズムがかなり低いと評価されている。なおトルコ、エジプト及びイラン各国の世界ランクはそれぞれ76位、97位、119位である。

(参考:日本14位、米国1位、中国43位)

(12)イノベーション力(Innovation capability)

イノベーション力の高さで MENA トップのイスラエルは世界16位である。同国に続くのは UAE 及びカタールであり、それぞれの世界ランクは35位と37位、さらにサウジアラビア(41位)となっており、この順位は総合順位と同じである。世界140カ国の上位に入っているのはこれらの国々の他、トルコ、ヨルダン、レバノン、エジプト及びイランの合計9か国である。一方100位以下の国はクウェイト(103位)、アルジェリア(106位)、イエメン(133位)の3か国がある。

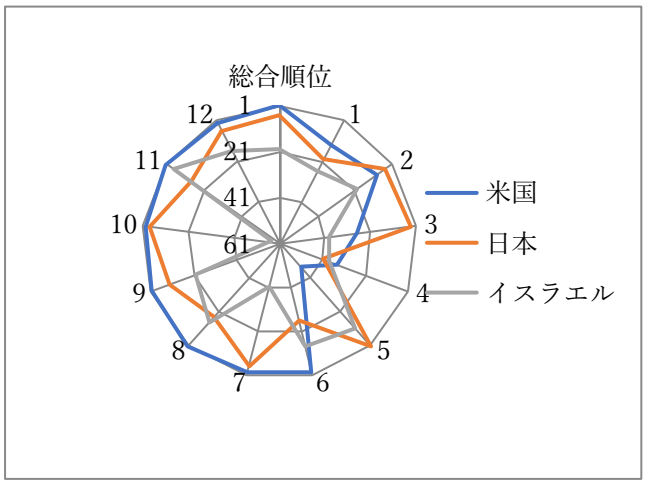
(参考:日本6位、米国2位、中国24位)

5. 主要国の分野別競争力(レーダーチャート)

MENA の主要5カ国(エジプト、トルコ、サウジアラビア、イスラエル及び UAE)と日本、米国、中国の分野別競争力を比較してみる。ここではこれら7か国を総合世界ランクが近い国同士で3つのグループに分け、レーダーチャート図によって各国の競争力の特徴を比較検討する。

レーダーチャート図は最も外側が世界順位1位であり内側の中心は世界151位である。また最上段の総合順位以下時計周りの1から12の数字は各分野を示している。各分野の世界順位を結ぶ輪が各国の状況である。レーダーチャートの輪が外側に広がっているほど世界での順位が高く、また輪の形が円に近いほど各分野で平均した競争力があることを示している。

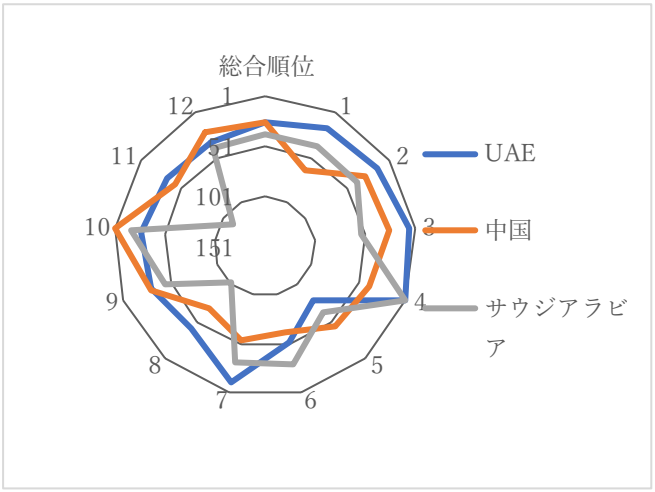
(1)イスラエルと米国、日本の比較



まず米国(総合世界1位)、日本(同5位)とイスラエル(同20位)を比較すると、米国は「4. マクロ経済の安定性」(34位)と「5. 健康」(47位)が大きく落ち込んでいるが、12項目中の8項目は世界のベスト・テンに入っており、また3項目は世界1位である。これに対して日本は米国同様「4. マクロ経済の安定性」が大きく落ち込み世界41位にとどまっているが、「2. インフラ」など7項目が世界のベスト・テンに入っており平均した競争力を持っていることを示している。

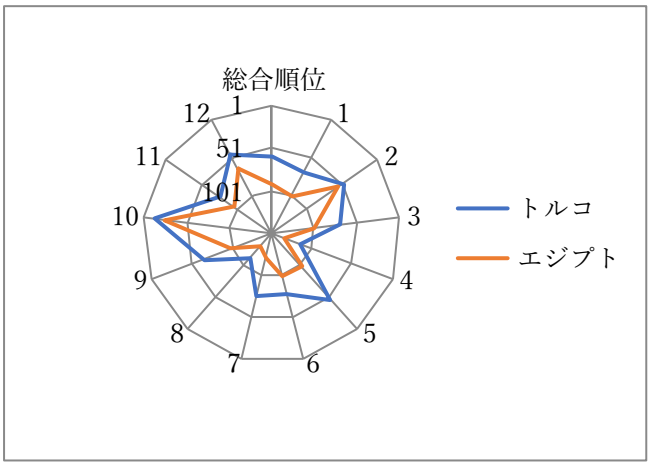
MENA1位、世界20位のイスラエルは「11. ビジネスダイナミックス」が世界10位以内であり、また「5. 健康」、「8. 労働市場」、「12. イノベーション力」が世界 20 位以内であるなど高ランクの項目が多く、「10. 市場規模（世界56位）」を除くすべての項目が世界40位以内であり一部の分野では世界的な競争力がある。

(2)UAE、中国とサウジアラビアの比較



次に UAE、中国およびサウジアラビアを比べると総合順位はそれぞれ27位、28位、39位であり UAE と中国はわずか1ランクの差である。UAE は「4. マクロ経済の安定性」が世界1位であり、中国は「10. 市場規模」が世界1位と、それぞれの特色が表れている。その他の項目では「1. 制度機構」が UAE の19位に対し中国は65位と UAE の方がかなり競争力が高い。これに対して「5. 健康」分野では中国44位、UAE79位と中国が優位に立っている。その他の分野ではそれぞれ一長一短である。サウジアラビアは両国に比べて各分野の競争力が劣っており、特に「8. 労働市場」（世界102位）及び「11. ビジネスダイナミズム」(世界114位)の分野で UAE 或は中国と大きな格差がある。

(3)トルコとエジプトの比較



トルコとエジプトは共に人口7千～8千万人を有する MENA の大国である。両国の総合ランクはトルコ61位、エジプト94位と大きな格差がある。両国は「4. マクロ経済の安定性」がそれぞれ世界116位、同135位と極めて低く、また「8. 金融システム」も共にランクが低い(111位及び130位)。唯一世界順位が高いのは「10. 市場規模」であり(トルコは世界13位、エジプトは24位)、これは人口が多いことによるものである。両国を比較するとすべての分野でトルコがエジプトを上回っているが、「5. 健康」分野でトルコが世界48位に対しエジプトは99位と両国の格差が大きい。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田　高行　　〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

15-T01

世界競争力ランキング

国名	2018 年		2017 年		前回との比較	
_	世界順位	MENA 順位	世界順位	MENA 順位	世界順位	MENA 順位
イスラエル	20	1	16	1	▲ 4	0
UAE	27	2	17	2	▲ 10	0
カタール	30	3	25	3	▲ 5	0
サウジアラビア	39	4	30	4	▲ 9	0
オマーン	47	5	62	8	15	3
バハレーン	50	6	44	5	▲ 6	▲ 1
クウェイト	54	7	52	6	▲ 2	▲ 1
トルコ	61	8	53	7	▲ 8	▲ 1
ヨルダン	73	9	65	9	▲ 8	0
モロッコ	75	10	71	11	▲ 4	1
レバノン	80	11	105	15	25	4
チュニジア	87	12	95	13	8	1
イラン	89	13	69	10	▲ 20	▲ 3
アルジェリア	92	14	86	12	▲ 6	▲ 2
エジプト	94	15	100	14	6	▲ 1
イエメン	139	16	137	16	▲ 2	0
イラク	－	－	－	－	－	－
リビア	－	－	－	－	－	－
パレスチナ自治区	－	－	－	－	－	－
シリア	－	－	－	－	－	－
MENA 平均	66	－	64	－	▲ 2	－
（全対象国数）	140	－	137	－	－	－
日本	5	－	9	－	4	－
米国	1	－	2	－	1	－
中国	28	－	27	－	▲ 1	－
世界 1 位	米国	－	スイス	－	－	－
最下位	チャド	－	イエメン	－	－	－

15-T02

世界競争力ランクの推移

	第 14 回 (2014 年)	第 15 回 (2015 年)	第 16 回 (2016 年)	第 17 回 (2017 年)	第 18 回 (2018 年)
イスラエル	27	27	24	16	20
UAE	12	17	16	17	27
カタール	16	14	18	25	30
サウジアラビア	24	25	29	30	39
オマーン	46	62	66	62	47
バハレーン	44	39	48	44	50
クウェイト	40	34	38	52	54
トルコ	45	51	55	53	61
ヨルダン	64	64	63	65	73
モロッコ	72	72	70	71	75
レバノン	113	101	101	105	80
チュニジア	87	92	95	95	87
イラン	83	74	76	69	89
アルジェリア	79	87	87	86	92
エジプト	119	116	115	100	94
イエメン	142	–	138	137	139
リビア	126	–	–	–	–
シリア	–	–	–	–	–
イラク	–	–	–	–	–
パレスチナ自治区	–	–	–	–	–
MENA 平均	67	58	65	64	66
調査対象国数	144	140	138	137	137
日本	6	6	8	9	5
米国	3	3	3	2	1
中国	28	28	28	27	28

15-T03

2018年世界競争力ランキング(項目別)

総合順位	国名	Institutions	Infrastructure	ICT adoption	Macroeconomic stability	Health	Skills
20	イスラエル	26	20	39	38	11	14
27	UAE	19	15	6	1	79	53
30	カタール	31	26	9	40	40	38
39	サウジアラビア	39	40	54	1	64	30
47	オマーン	36	24	61	58	65	36
50	バハレーン	42	30	38	119	74	28
54	クウェイト	57	51	62	1	38	79
61	トルコ	71	50	71	116	48	77
73	ヨルダン	50	73	75	101	78	61
75	モロッコ	54	53	93	47	88	114
80	レバノン	113	95	59	114	37	64
87	チュニジア	75	84	90	118	58	71
89	イラン	121	76	80	117	84	91
92	アルジェリア	120	88	83	111	66	88
94	エジプト	102	56	100	135	99	99
139	イエメン	139	138	136	133	120	132
	MENA 平均	68	57	66	78	66	67
参考							
5	日本	20	5	3	41	1	26
1	米国	13	9	27	34	47	3
28	中国	65	29	26	39	44	63

15-T03（続き）

総合順位	国名	Product market	Labour market	Financial system	Market size	Business dynamics	Innovation capability
20	イスラエル	41	15	22	57	5	16
27	UAE	11	42	31	28	33	35
30	カタール	25	54	34	51	40	37
39	サウジアラビア	32	102	45	17	114	41
47	オマーン	33	93	56	62	52	86
50	バハレーン	28	46	33	90	54	72
54	クウェイト	69	120	48	54	96	103
61	トルコ	76	111	65	13	76	47
73	ヨルダン	88	91	32	81	94	59
75	モロッコ	75	119	44	53	99	78
80	レバノン	108	101	43	80	109	61
87	チュニジア	103	129	78	70	73	84
89	イラン	134	136	98	19	119	65
92	アルジェリア	126	134	122	38	113	106
94	エジプト	121	130	99	24	97	64
139	イエメン	131	140	140	113	136	133
	MENA 平均	75	98	62	53	82	68
参考							
5	日本	5	18	10	4	14	6
1	米国	3	1	1	2	1	2
28	中国	55	69	30	1	43	24